

総 説

1 沿 革

古代の当地方の人々は、採集、狩猟、漁労に都合のよい台地上に居住していたことが、市内から出土する遺物によって知ることができる。

平安時代中期、武士が勃興すると当地方は佐竹氏の支配下におかれた。室町時代中期以降も佐竹氏あるいは、隣接する岩城氏の支配下におかれたが、江戸時代に入ると当地方は水戸藩領、棚倉藩領、天領、旗本領とが入り組み明治維新まで続いた。

この間、封建時代の経済基盤である農業については、松井村（中郷町）の沼田主計らが、かんがい用水路の工事を行い、新田開発等の振興策が行われた。また、平潟港は寛永年間に仙台藩主の伊達氏が江戸へ年貢米運送の寄港地として港を整備した。その後1670年（寛文10）に河村瑞賢が幕命により仙台―江戸間の東廻り航路の刷新を行うとその寄港地に指定された平潟港は、大変賑わった。

1851年（嘉永4）、上小津田村（華川町）の神永喜八が塩ノ平、芳ノ目などで露頭炭の採掘に着手した。これが常磐炭田開発の始まりとなり、当地方の発展に一大変革をもたらした。

1868年（明治元）、平潟に輪王寺宮（北白川宮）が旧幕府軍とともに上陸し会津に向かった。

その後、新政府軍も平潟に上陸し平潟口総督府を設置する。

明治期に入り磯原地区は、石炭産業を中心に商業が繁栄し、当地方の中核として発展を続け、中郷、関本、華川地区は農業と恵まれた資源を利用した林業や炭鉱を中心として発展してきた。また、関南地区は陸前浜街道の宿場町と農業を主に発展し、大津地区は古くからの漁港を基盤に水産業、水産加工業、商業の町として栄え、平潟地区は物資の積出し、廻船の寄港地として大いに隆盛をみた。

1888年（明治21）、町村制の公布により35カ所がそれぞれまとまって南中郷村、北中郷村、華川村、関南村、関本村、大津町、平潟町の2町5カ村となり近代自治制度の基盤が確立された。1925年（大正14）になると北中郷村が町制をしき、磯原町と改称した。

さらに、1953年（昭和28）町村合併促進法が公布されると、産業、地形、習慣、文化、経済など多くの特性を持っている町村内で地域相互が連携し一つの生活圈・経済圏を形成して総合的な開発、発展する都市づくりを目指そうとする気運が高まった。1955年（昭和30）には磯原町と華川村が合併し磯原町となり、さらに翌1956年（昭和31年3月31日）には6カ町村が合併し、市制が施行され県下15番目の市として北茨城市が誕生した。

2 北茨城市のあゆみ

年 月	お も な で き ご と
昭和31年 3月	磯原町、大津町、平潟町、関南村、関本村、南中郷村の6町村が合併し市制を施行 人口 60,282人 面積 186.37km ²
5月	市長選挙執行、初代市長に片寄富七氏就任 投票率 76.24%
8月	市章決定
12月	市議会議員定数36名に定める
昭和32年 3月	市制施行後初の市議会議員選挙実施 投票率93.87%
5月	大津町の御船祭17年ぶりに復活
10月	市役所庁舎竣工
昭和33年 5月	ごみ処理清掃車購入により収集開始
8月	大津町立病院が「北茨城市立病院」と改称
9月	水沼へき地診療所が完成
11月	北茨城市国民健康保険事業実施
昭和34年 6月	水戸地方法務局大津出張所が廃止され磯原出張所と統合
昭和35年 1月	中郷町有線放送電話開通 加入戸数782戸
4月	市長選挙執行、片寄富七氏再選 投票率83.36%
5月	二ツ島公園にブロンズ像が建立
7月	北茨城市商工会結成
10月	第9回国勢調査 人口 60,567人 世帯 12,680世帯
昭和36年 1月	市消防団改組により19分団に編成
6月	磯原町に青年研修所開所
7月	市庁舎増築工事完成
昭和37年 1月	華川、磯原、関南、関本有線放送開始 加入戸数 1,959戸
4月	滝分小公園完成
11月	関本町小川地区に電気導入 花園大杉、増長天立像、持国天立像が県文化財に指定
昭和38年 6月	常磐線 上野～平間電化開通
11月	茨大五浦研究所内に天心記念館完成
昭和39年 1月	上水道起工式
3月	中郷町に衛生処理場完成 交通安全都市宣言
4月	市長選挙執行、豊田実氏就任 投票率 83.83%
昭和40年 3月	華川町に浄水場完成
10月	第10回国勢調査 人口 55,334人 世帯 12,474世帯
12月	磯原工業団地第1期造成工事着手
昭和41年 3月	市議会議員定数28名に決定

年 月		おもなできごと
昭和41年	4月	上水道給水開始 県立北茨城高校開校
	6月	水沼ダム完成
	11月	市制施行10周年記念式典挙行
昭和42年	3月	磯原工業団地第2期造成工事着手
	5月	ごみ処理場完成
	9月	大日本炭礦閉山
	11月	磯原工業団地第3期造成工事着手
昭和43年	3月	北茨城市民歌発表会開催
	4月	市長選挙執行、豊田実氏再選 投票率84.61%
	5月	自動電話開通（ダイヤル式）
	9月	北茨城市消防署発足
昭和44年	2月	N H K北茨城市テレビ放送局高帽山に開局
	8月	関本炭礦閉山
	10月	重内炭礦閉山
昭和45年	3月	消防署庁舎完成 ウォーナー博士の胸像除幕
	4月	市立木皿保育所開所
	7月	才丸青年研修所開所
	8月	工業用水道浄水場完成
	10月	第11回国勢調査 人口 48,323人 世帯 11,842世帯
昭和46年	4月	市立病院本館起工式
	8月	常磐炭礦中郷礦閉山
	11月	老人の医療費無料化開始 常磐炭礦神の山礦閉山 市制施行15周年記念式典挙行
昭和47年	3月	磯原B工業団地造成工事着手
	4月	市立病院本館完成 晴々荘、偕山荘が老人憩いの家として開所 市長選挙執行、豊田実氏再選 投票率79.20%
	5月	茜平青少年の家開所
	8月	磯原住宅団地起工式
	10月	第1回市民号（小山ヘルスセンター）実施
昭和48年	4月	1歳未満の乳児、重度心身障害者、ねたきり老人、医療費の無料化開始
	10月	市公害防止条例制定

年 月		お も な で き ご と
昭和48年	12月	市用途地域決定
昭和49年	6月	中郷地区簡易水道給水開始
	10月	第29回国民体育大会ウェイトリフティング競技開催
	12月	磯原B工業団地第2期造成工事着手
昭和50年	4月	北茨城市総合計画基本構想策定
	5月	市長豊田実氏の逝去に伴い市葬執行
	6月	市長選挙執行、柴田章氏就任 投票率 85.01%
	10月	第12回国勢調査 人口 44,332人 世帯 11,560世帯
昭和51年	2月	中郷地区鉦害復旧事業起工式
	3月	市制施行20周年記念式典挙行 第5次漁港整備事業完了
	4月	教育福祉事業団設立
	5月	第27回全国植樹祭で茜平青少年の家に昭和天皇、皇后両陛下訪れる
	10月	野外趣味活動施設（レストハウス）完成
	11月	第1回市民まつり挙行
	12月	北茨城市開発公社新庁舎完成
昭和52年	1月	市立病院に特別病棟（リハビリ）完成
	3月	駒木工業用水浄水場に第2工業用水浄水場が完成
	4月	第6次漁港整備事業着手
	8月	体育施設建設事業着手
	9月	昭和16年以来の大災害、台風11号本市を襲う
	10月	花園地区に生活改善センター完成
昭和53年	4月	市立関本保育所完成 関本町小川の田園都市建設事業着手
	5月	市民体育館、市民プール、サッカー・ラグビー場完成 常磐自動車道が路線発表
	7月	五浦区画整理事業着手
	10月	磯原駅西土地区画整理事業着手
	12月	休日、祝日の当番医が発足 小川地区に自動電話開通
昭和54年	3月	下小津田地区上水道給水開始 大津の盆船流し行事が県文化財に指定
	4月	市民ダイヤル開始 北茨城市清掃センター操業開始
	5月	市長選挙執行、柴田章氏再選 投票率 79.93%

年 月		お も な で き ご と
昭和54年	5月	市民体育館に弓道場完成
	9月	巡回文庫（移動図書館）開始
昭和55年	3月	歴史民俗資料館完成
	4月	汐見ヶ丘近隣公園竣工 市民野球場完成
	5月	長野県中野市と姉妹都市提携
	8月	常磐自動車道のインターチェンジ・サービスエリアが発表される
	10月	農村総合整備事業開始 第13回国勢調査 人口 47,670人 世帯 13,031世帯
昭和56年	1月	二ツ島立体交差完成
	6月	市制25周年記念式典挙行 市民憲章・市の木、花、鳥を制定 中郷工業団地造成工事着手 平潟町に多目的集会所完成
	9月	市民号第10回記念として姉妹都市中野市訪問
昭和57年	3月	給食センター完成 関南町に公民館完成
	6月	中郷浄水場完成
	10月	名誉市民、片寄富七氏逝去に伴い市葬執行
	11月	大津、平潟漁港第7次整備事業開始 市のPR映画「のびゆく北茨城」完成
昭和58年	4月	心身障害者福祉センター完成
	5月	市長選挙執行、柴田章氏再選 投票率80.98%
	9月	華川町に公民館完成
	11月	環境センター完成
昭和59年	3月	小川小学校が閉校、水沼小学校に統合 中郷第二小学校新校舎完成
	4月	保健センター完成 ミニ・シルバー人材センター開設
	6月	人口再び5万人を突破
昭和60年	1月	新市庁舎建設計画決定
	4月	関本地区に多目的研修所完成
	5月	海洋センタープール完成
	7月	「科学万博—つくば'85」にて北茨城の日開催
	8月	葬祭場完成

年 月		おもなできごと
昭和60年	10月	第14回国勢調査 人口 51,035人 世帯 14,458世帯
昭和61年	3月	行政改革大綱策定 新市庁舎建設工事開始
	4月	関本第一小学校新校舎完成 北茨城共同福祉施設完成
	11月	市長柴田章氏逝去に伴い市葬執行
	12月	市長選挙執行、松崎龍夫氏就任 投票率 87.04%
昭和62年	2月	市制施行30周年記念式典挙行
	4月	県立北茨城養護学校開校
	5月	北茨城市立病院が「北茨城市立総合病院」と改称
	7月	中郷第二小学校、関本中学校にプール完成
	9月	茨城の豊かな海づくり北茨城大会開催 核兵器廃絶、平和都市宣言
	10月	新市庁舎完成
	11月	J R 三 駅（南中郷、磯原、大津港）に市民サービスセンター開設と同時に新市庁舎業務開始
昭和63年	3月	常磐自動車道 日立北～いわき中央間開通 石岡小学校新校舎完成
	4月	平潟漁港第三種漁港に昇格
	7月	中郷中学校、華川中学校にプール完成
	8月	華川小学校新校舎、華川幼稚園新園舎完成
	10月	第1回磯原節全国大会開催
	12月	北茨城民放テレビ中継局高帽山に完成
平成元年	1月	裕仁天皇陛下の崩御に伴い、1月8日から改元され、昭和から「平成」になる
	2月	第1回雨情の里童謡の集い開催
	4月	市立図書館開館 老人福祉センター、デイサービスセンター「ライト」完成 中妻小学校新校舎完成
	7月	社団法人シルバー人材センター開設（ミニシルバー人材センターの昇格） 明德小学校、常北中学校、水沼中学校にプール完成
	11月	第1回雨情の里港まつり開催 市民ふれあいセンター完成 大津港駅にこ線人道橋完成
平成2年	3月	大津漁村センター「ポートオオツ」完成

年 月		おもなできごと
平成 2 年	3 月	大津小学校新校舎完成 新柔剣道場完成
	5 月	第 1 回市民の森植樹祭開催（関本町才丸地区）
	7 月	磯原中学校、石岡小学校にプール完成（中学校は全校完成となる）
	10 月	広域農業開発事業多賀区域農業用道路 内野～小豆畑間開通 第 15 回国勢調査 人口 51,093 人 世帯 14,888 世帯 中郷地区に多目的集会所完成
	11 月	市長選挙執行、豊田稔氏就任 投票率 88.19%
平成 3 年	2 月	精華小学校新校舎完成 中郷第一小学校、大津小学校校庭に夜間照明施設完成
	3 月	中郷幼稚園新園舎完成
	5 月	第 2 回市民の森植樹祭開催（磯原町内野地内）
	7 月	中郷第一小学校、華川小学校にプール完成
平成 4 年	3 月	名誉市民胸像除幕式挙行 独居老人緊急通報システム開通 磯原駅東まちなみ整備事業（電線の地下埋設等）の一部完成
	4 月	常北中学校屋内運動場整備完成
	5 月	歴史民俗資料館、入館者 100 万人突破
	7 月	第一回親子ふれあいの船開催
	8 月	大津小学校、平潟小学校にプール完成
	11 月	磯原駅東まちなみ整備事業完成（からくり時計・公園）
平成 5 年	3 月	中郷中学校屋内運動場完成
	4 月	雨情の里スポーツ広場完成 平潟港温泉通湯開始
	5 月	五浦地区に六角堂をイメージした観光トイレが完成 歴史民俗資料館に映像コーナーを設置
	6 月	流出油、北茨城の海岸に漂着
	7 月	雨情の里トライアスロン in 北茨城開催
	8 月	中妻小学校、関本第一小学校にプール完成
	10 月	木皿シルバーコミュニティセンター完成
	11 月	五浦海岸六角堂周辺人口崖完成記念式典開催
平成 6 年	2 月	市老人保健福祉計画が完成
	3 月	市国際交流協会が設立 心身障害者第 2 福祉センター完成
	4 月	茜平で市民手づくりツツジ植樹実施

年 月		おもなできごと
平成 6 年	8 月	茜平星祭り開催
	9 月	北茨城市民大学開校
	10 月	北茨城市民カード運用開始 雨情没後 50 年祭開催 茜平にガラス工房「シリカ」オープン 関南多目的集会所、ゲートボール・クロッケーコートが完成
	11 月	市長選挙執行、豊田稔氏再選 投票率 71.03%
平成 7 年	1 月	「阪神・淡路大震災」被災地へ北茨城市職員救援隊派遣
	3 月	茜平「童謡の森ふれあいパーク」完成 大津コミュニティセンター完成 富士ヶ丘小学校にプール完成
	6 月	市長選挙執行、村田省吾氏就任 投票率 64.69%
	10 月	第 16 回国勢調査 人口 52,074 人 世帯 15,912 世帯
	11 月	茨城県天心記念五浦美術館起工式 十石トンネル開通 日立市、高萩市、北茨城市、十王町の災害相互応援協定締結
	12 月	いわき市と消防相互応援協定締結 福島県塙町と災害相互応援協定締結
平成 8 年	1 月	いわき市と水道相互応援協定締結 長野県中野市と災害時相互応援協定締結
	3 月	泉沢霊園完成
	5 月	茨城キリスト教大学、シオン短期大学と市民大学事業協定締結 女性によるまちづくり委員会発足
	8 月	地震・津波防災訓練実施
	9 月	平潟小学校新校舎完成
	10 月	市制施行 40 周年記念式典挙行 J R 常磐線磯原駅の橋上化起工式
	11 月	北茨城市女性連盟設立
平成 9 年	1 月	石炭火力発電所の立地計画書が東京電力から提出される
	4 月	「家族キャンプ村花園オートキャンプ場」竣工
	8 月	環境フェア'97in 花園開催
	10 月	J R 常磐線磯原橋上駅・自由通路竣工 信濃路ふれあいロマン紀行催行
	11 月	都市計画道路（五浦海岸線）開通 茨城県天心記念五浦美術館開館

年 月	お も な で き ご と
平成10年	1月 石炭火力発電所の立地に同意
	2月 平潟小学校屋内運動場完成
	4月 五浦岬公園完成
	5月 常磐三市災害相互応援協定締結（いわき市、高萩市）
	7月 市営斎場「やすらぎ聖苑」完成
	10月 平潟地区漁業集落排水処理施設供用開始
平成11年	4月 都市計画道路（神岡・五浦線）開通 石岡スポーツ広場完成 精華小学校屋内運動場完成 「中郷温泉 通りゃんせ」竣工
	5月 常陸大津の御船祭開催 ニュージーランド国ワイロア地区と国際親善友好都市提携 磯原駅西土地区画整理事業換地処分に伴う町名変更
	6月 市長選挙執行、村田省吾氏再選 無投票
	11月 北茨城市公式ホームページ開設
平成12年	2月 中郷温泉 通りゃんせ、入館者10万人突破
	4月 高齢者福祉事業団が社会福祉協議会に統合
	5月 「マウントあかね」オープン 姉妹都市締結20周年記念飛脚リレー
	10月 第17回国勢調査 人口 51,593人 世帯 16,672世帯
平成13年	3月 水沼小学校・水沼中学校廃校
	4月 防災コミュニティセンター完成 情報公開制度スタート 小山ダム定礎式
	11月 中郷温泉 通りゃんせ、入館者30万人突破
平成14年	3月 雨情誕生120年記念事業スタート（国際童謡フェスティバル） 平潟漁港の不発弾処理で193世帯が避難
	4月 花園地域交流センター「花園もーる」オープン
	5月 市内巡回バスの運行スタート
	8月 2002年茨城高校総体開催（ロードレース） 住民基本台帳ネットワークシステム第1次稼働
平成15年	1月 市民サービスセンター開設
	4月 ごみ処理有料化スタート 市内巡回バス本格運行 ハートフル宅配サービス開始

年 月	お も な で き ご と
平成 15 年 6 月	市長選挙・市議会議員補欠選挙、村田省吾氏再選 投票率 55.85%
8 月	住民基本台帳ネットワークシステム第 2 次稼働
12 月	北部幹線道路開通
平成 16 年 3 月	農山漁村交流促進特区認定
4 月	地域巡回バス試行運行
5 月	常陸大津の御船祭開催
6 月	新市民病院基本構想策定
7 月	市子どもの家オープン
8 月	明德小学校新校舎完成
10 月	常陸宮同妃両殿下ご来市
平成 17 年 4 月	市内医療機関などへの交通手段として地域巡回バス本格運行 栄蔵室に市民手づくりの展望台完成
6 月	市道里親制度スタート、3 団体が協定書に調印
7 月	小山ダム竣工式
8 月	地震・津波に備え、市内 24 カ所に半鐘を設置
10 月	個人情報保護制度スタート 第 18 回国勢調査 人口 49,645 人 世帯 17,090 世帯 公共下水道供用開始、浄化センターで通水式 戸籍の電算化開始
平成 18 年 1 月	ご近所声かけ隊発足（～ 10 月）
2 月	明德小学校体育館完成
3 月	石岡発電所が国の登録有形文化財に登録
4 月	防犯パトロール開始
5 月	防災ボランティア誕生
10 月	市制施行 50 周年記念式典挙行
平成 19 年 1 月	市役所に A E D（自動体外式除細動器）を設置
5 月	市漁業歴史資料館「よう・そろー」オープン
6 月	市長選挙執行、豊田稔氏就任 投票率 65.67% 花園・水沼地区で携帯電話サービス開始
9 月	市議会一般質問を一問一答方式へ切り替え
10 月	茨城の豊かな海づくり大会
11 月	ねんりんピック茨城 2007 俳句交流大会
平成 20 年 3 月	市役所にオストメイト（人工肛門）対応トイレ設置
4 月	後期高齢者医療制度開始（75 歳以上の新保険制度） 磯原郷英高等学校開校

年 月	お も な で き ご と
平成 20 年	6 月 出産祝金の支給開始（第 3 子 10 万円、第 4 子 30 万円、第 5 子以降 50 万円）
	8 月 第 1 回市民夏まつりを磯原駅周辺で開催
	9 月 北茨城市ふるさと応援寄附条例の制定
	10 月 消防団女性分団誕生
	11 月 国民文化祭雨情フェスティバル実施
平成 21 年	2 月 市民ふれあいセンター多目的ホールリニューアル
	3 月 市道 豊田・下駒木線開通 市議会議員選挙執行（無投票） 定員 22 名に
	4 月 コンビニ納税開始
	5 月 常陸大津の御船祭開催
	6 月 パスポート受付業務開始
	10 月 本庁日曜開庁開始
平成 22 年	3 月 県立北茨城高等学校が閉校 県立磯原高等学校との統合により 44 年の歴史に幕
	4 月 中郷子どもの家オープン 子育て支援と子育て世代の交流の場に 第 1 回石岡さくら祭り開催 満開の下、市民が「春」を満喫
	5 月 長野県中野市との姉妹都市締結から 30 周年
	8 月 平成 22 年度茨城県北茨城市総合防災訓練 大津漁港仁井田地区で実施
	10 月 第 19 回国勢調査 人口 47,026 人 世帯 16,966 世帯
	11 月 子ども議会 小中学生 22 人が議員となり、市執行部と一問一答を行う
平成 23 年	3 月 東日本大震災発生 マグニチュード 9.0 震度 6 弱の激しい揺れと津波により、未曾有の大災害をもたらす また東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故も発生し、産業や市民生活にも大きな影響を及ぼす
	4 月 天皇、皇后両陛下がご来市 震災被害のご視察と避難者を見舞われる
	5 月 復興への思いを込めた「きたいばらき元気市」がサッカーラグビー場で開催される
	6 月 市長選挙執行、豊田稔氏が再選 投票率 52.62%
	10 月 市観光協会が宇都宮市にアンテナショップを出店 第 20 回全国女性消防操法大会出場 神奈川県横浜市で開催
	12 月 磯原駅西に放射能対策プラザ開設 放射線量測定器の貸出と食品の放射能測定を開始
平成 24 年	2 月 北茨城市復興計画策定委員会が復興計画と提言書を市長に答申
	3 月 東日本大震災の被害を受けた大津岬灯台が再建
	4 月 震災の津波で流出した五浦六角堂が茨城大学により再建され、4 月 28 日から一般公開が再開される

年 月	おもなできごと
平成24年 4月	震災記録写真集「明日を信じて 元気！ 北茨城」を発行 市内全世帯と支援者に配布
5月	北茨城市水産業復興委員会が発足
6月	鹿児島県南さつま市と「災害時の相互応援に関する協定」を締結
7月	大津港駅前に観光案内所「びすどれ」開設 北茨城市地域交通利用券制度創設 復興支援の4者間包括的提携協定（市、筑波銀行、J T B 関東、市観光協会）により観光情報誌「るるぶ北茨城市」完成
8月	震災復興支援展覧会「生誕110周年ウォルト・ディズニー展」が県天心記念五浦美術館で開催
10月	映画「天心」を支援する会が発足
平成25年 1月	放射能対策プラザが中郷多目的集会所内に移転
3月	防災行政無線（51箇所）設置完了 市議会議員選挙執行 定員20名に 投票率 59.11% 北茨城市のイメージキャラクターが決定 五浦岬公園の映画「天心」オープンセット展示公開
4月	高速バス北茨城インター停留所経由運行開始 磯原駅前交番運用開始
5月	静岡県小山町と「災害時における支援協力に関する協定」締結
7月	廃棄物と環境を考える協議会加盟団体（1都5県65市町村）と災害時相互応援協定締結 漁業歴史資料館「よう・そろー」リニューアルオープン 参議院議員通常選挙執行 投票率 47.75%
8月	イメージキャラクター「こうちゃん」が市民夏まつりで初お披露目 市内25団体と「高齢者等の見守り活動協力に関する協定」締結
9月	茨城県知事選挙執行 投票率 32.59%
11月	P R 動画「恋するフォーチュンクッキー北茨城バージョン」制作・公開
12月	水戸信用金庫磯原支店と「災害時における支援協力に関する協定」締結
平成26年 1月	北茨城歯科医師会と「災害時の歯科医療活動についての協定」締結
2月	放射能対策プラザ移動測定所開設（関南多目的集会所隣）
3月	防災メール配信サービス開始 「杉良太郎&仲間の皆さんによる復興支援チャリティーコンサート」開催 五浦岬公園展望慰霊塔完成 災害公営住宅入居開始 県道里根神岡上線、市道0230号線開通

年 月		おもなできごと
平成26年	3月	中部市民サービスセンター廃止
	5月	常陸大津の御船祭開催
	6月	大津漁港内に非破壊放射能検査施設開設
	10月	仁井田浜公園内に津波避難タワー完成 第1回全国あんこうサミット開催 7地区で市政懇談会開催 県道北部幹線道路（県道里根神岡上線バイパス）が市民病院まで開通
	11月	北茨城市民病院開院
平成27年	3月	茨城県・北茨城市合同追悼・復興祈念式典開催 磯原駅に北茨城観光案内所開設
	4月	第74回国民体育大会 北茨城市準備委員会設立
	5月	市長選挙執行、豊田稔氏が再選 投票率 56.35%
	6月	北茨城市民病院附属家庭医療センター開設
	10月	第20回国勢調査 人口 44,412人 世帯 16,871世帯
平成28年	2月	新消防庁舎完成 蛭田二郎彫刻ギャラリーオープン
	3月	市制施行60周年記念式典挙行 関本第一小学校、富士ヶ丘小学校閉校
	4月	関本小中学校開校
	5月	五浦・花園ウェブカメラ配信
	6月	新市立図書館開館
	8月	国際交流員 アリス・パッキエ氏採用
	9月	県北芸術祭開催
	11月	花園神社紅葉ライトアップ開催
平成29年	2月	関南小学校新校舎完成
	3月	村田省吾前市長に名誉市民称号を贈呈 常陸大津の御船祭国指定重要無形文化財に指定 市議会議員選挙執行 定員19名に 投票率53.94%
	4月	北茨城市コミュニティケア総合センター開所 北部スポーツ広場リニューアルオープン
	5月	常陸大津の御船祭臨時開催
	6月	県道北部幹線道路（県道里根神岡上線バイパス）が全線開通
	7月	グローバル人材育成事業でフランスに中学生等を派遣 株式会社タニタヘルスリンクと「健康都市づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結

年 月	おもなできごと
平成 29 年 12 月	市公式アプリ「きたいばナビ」をリリース 市が「自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村」の一つとして総務大臣表彰（団体表彰）を受賞 磯原駅西でイルミネーション「ブルーウェーブいそはら」開催
平成 30 年 3 月	磯原子育て支援住宅竣工、入居開始 北茨城市地域おこし協力隊主催「桃源郷芸術祭 2018」開催 旧消防署跡地に中郷地区津波避難タワー完成
4 月	市内体育施設に指定管理者制度を導入 北茨城市生涯学習センター本館「とれふる」（旧関本第一小学校）、分館「期待場」（旧富士ヶ丘小学校）開設 磯原子どもの家開設 高萩市と「原子力災害時における高萩市民の県内広域避難に関する協定」締結
5 月	磯原地区公園テニスコート完成 二ツ島高台公園完成
8 月	水道料金を改定 いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会「全日本実業団ソフトテニス選手権大会」開催
9 月	石岡住宅（旧雇用促進住宅中郷宿舎）入居開始 大洗町、大子町と観光振興における連携協力に関する協定を締結
11 月	高萩市と 2 市共同で新しいごみ処理施設の整備を進めるとの「基本合意」を締結 北茨城市・高萩市・北茨城市商工会・高萩市商工会及び茨城労働局による雇用対策協定を締結（全国初）
12 月	茨城県議会議員一般選挙 投票率 45.96%
平成 31 年 3 月	北茨城市地域おこし協力隊主催「桃源郷芸術祭 2019」開催 北茨城市観光アクションプランを策定
4 月	ポートオオツに「大津町空襲慰霊碑」が建立 中郷温泉 通りゃんせ、入館者 200 万人突破 北茨城市歴史民俗資料館・野口雨情記念館リニューアルオープン
令和 元年 5 月	明仁天王陛下の生前退位に伴い、5 月 1 日から改元され、平成から令和に 常陸大津の御船祭開催 群馬県太田市と連携協力にかかる協定を締結
6 月	市長選挙執行、豊田稔氏が再選 投票率 53.04%

年 月	お も な で き ご と
令和 元 年	9 月 中郷町の「十石堀」が世界かんがい施設遺産に登録 第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体2019） ソフトテニス競技会開催
	10 月 磯原地区公園多目的屋内スポーツ施設（筑波銀行『あゆみ』ドーム）オープン 市立図書館、入館者50万人突破
令和 2 年	1 月 北茨城市地域おこし協力隊主催「桃源郷芸術祭2020」開催
	3 月 新型コロナウイルス感染症対策のため、全国一斉臨時休業（休校） （令和2年3月2日～春季休業前まで）
	4 月 新型コロナウイルス感染症対策のため、市内小中学校の臨時休業（休校） を5月末まで延長 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令（7都府県）（4月7日） 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の対象が全国に拡大し、茨城県も対象となる（4月16日）
	5 月 長野県中野市との姉妹都市締結から40周年 茨城県を含む39件の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除となる（5月14日）
	7 月 「緊急プロジェクト あんこう鍋発祥の地 北茨城を救え！」 クラウドファンディング開始
	8 月 日曜開庁日変更 各種証明書のコンビニ交付サービス開始 J A 常陸五浦ライスセンター完成
	10 月 第21回国勢調査 人口 41,801人 世帯 17,042世帯
	11 月 十石堀維持管理協議会が第7回「ディスカバー農村漁村の宝」に選定
令和 3 年	2 月 常陸大津の御船祭保存会が令和2年度地域文化功労者表彰を受賞
	3 月 華川中学校が閉校、磯原中学校に統合 北茨城市都市計画マスタープラン改定 東日本大震災から10年目の節目にあたり、防災訓練及び慰霊祭を実施 市議会議員選挙執行 定員19名に 投票率52.17% 北茨城市教育振興基本計画策定
	4 月 放射能対策プラザが非破壊放射能検査施設に移転
	8 月 茨城県に2回目の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令（8月20日）

年 月	お も な で き ご と
令和 3 年 9 月	磯原中学校新校舎、複合防災・学校給食センター供用開始 明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除となる（9月30日）
10 月	華川浄水場供用開始 大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結
令和 4 年 1 月	北茨城市ふるさと応援大使に石井竜也氏、トリル・ダイナスティ氏就任 都市計画道路（北町・浜田線）が全線開通
3 月	北茨城市雨情の里スポーツ広場廃止
4 月	「十石堀」沼田主計顕彰碑完成 第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結
令和 5 年 1 月	令和 4 年 4 月の民法改正により、成人式祝典を「北茨城市はたちの集い」に名称を変更し、20歳を対象に開催
3 月	磯原中央公園に「野口雨情顕彰碑」、ウォーキングロードに道標「雨情小径」を設置
4 月	北茨城市と高萩市で組織する「高北清掃センター」でごみの受入開始 都市計画道路（北町・関本中線）が開通 常陸大津の御船祭新祭事船竣工式 北茨城市華川スポーツパークオープン
5 月	市長選挙執行、豊田稔氏が再選 投票率48.43%
8 月	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地方創生に関する連携協定を締結
9 月	台風13号の影響により線状降水帯が発生し、市内各地に大きな被害をもたらす
10 月	第25回全国女性消防操法大会出場 東京都江東区で開催
令和 6 年 4 月	市立小・中学校に2学期制を導入
5 月	常陸大津の御船祭開催 市立図書館、入館者100万人突破
6 月	旧磯原中学校の跡地に「しゃぼん玉公園」開園

3 位置・地勢

本市は、茨城県の最北部にあり、首都東京からは、東北に180kmの地点で、東西およそ24km、南北22km、その総面積は186.79km²となっている。

また、市域の西に、阿武隈高地が南北に連なり、その支脈を水源とする大北川、塩田川、里根川などの各河川が太平洋に注いでいる。これらの河川の地域には、豊かな平坦地がひらけている。

主要な交通機関として、鉄道にはＪＲ常磐線の南中郷・磯原・大津港の三駅を有している。

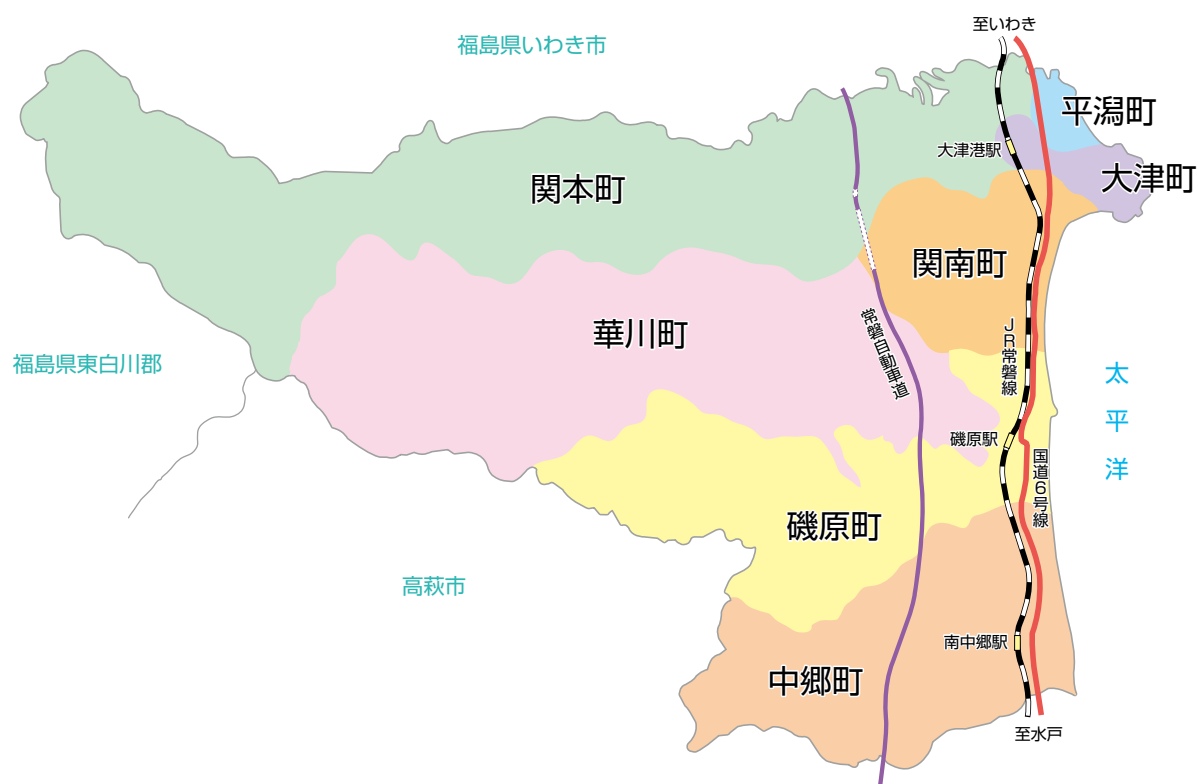
道路には国道６号線及び高速自動車道である常磐自動車道が南北に走っており、市の中心部に北茨城インターチェンジを有している。

市役所所在地	市制施行日	面 積	位置（世界測地系）		広 ぼう		海 抜
			経 度	緯 度	東 西	南 北	
磯原町磯原 1630 番地	昭和 31.3.31	km ² 186.79	140° 45′ 04″	36° 48′ 07″	km 24.0	km 22.0	m 50.8
海岸総延長 20,251m ※河口部は除く（平成26年3月31日現在 県土木部河川課）							

北茨城市の位置



4 地区の構成図



●町丁字名一覧

中郷町上桜井	中郷町汐見ヶ丘3丁目	中郷町汐見ヶ丘9丁目
中郷町下桜井	中郷町汐見ヶ丘4丁目	中郷町汐見ヶ丘10丁目
中郷町足洗	中郷町汐見ヶ丘5丁目	中郷町栗野
中郷町小野矢指	中郷町汐見ヶ丘6丁目	中郷町日棚
中郷町汐見ヶ丘1丁目	中郷町汐見ヶ丘7丁目	中郷町松井
中郷町汐見ヶ丘2丁目	中郷町汐見ヶ丘8丁目	中郷町石岡
磯原町内野	磯原町豊田2丁目	磯原町磯原5丁目
磯原町大塚	磯原町磯原	磯原町磯原6丁目
磯原町木皿	磯原町磯原1丁目	磯原町本町1丁目
磯原町上相田	磯原町磯原2丁目	磯原町本町2丁目
磯原町豊田	磯原町磯原3丁目	磯原町本町3丁目
磯原町豊田1丁目	磯原町磯原4丁目	磯原町本町4丁目
華川町白場	華川町車	華川町小豆畑
華川町中妻	華川町下小津田	華川町花園
華川町下相田	華川町上小津田	
関南町神岡上	関南町関本下	関南町里根川
関南町神岡下	関南町仁井田	
大津町	大津町北町2丁目	大津町五浦1丁目
大津町北町	大津町北町3丁目	大津町五浦2丁目
大津町北町1丁目	大津町北町4丁目	大津町五浦3丁目
平潟町		
関本町小川	関本町八反	関本町関本中
関本町才丸	関本町関本上	
関本町富士ヶ丘	関本町福田	